

平成 29 年度決算について

平成 30 年 6 月 14 日
あいの風とやま鉄道株式会社

1 決算概要

平成 29 年度の当社決算は最終利益が 9,759 千円で、前期利益額(6,912 千円)を 2,847 千円上回り、4 期連続の黒字を計上することができました。

営業収益は、前年度を 87 百万円下回りましたが、営業費用も 83 百万円下回り、営業収支は 49 百万円の赤字で赤字額は前年度を 3 百万円上回りました。

繰延資産の償却費や受託事業収支を計上した後の経常収支では 184 百万円の赤字となり、県からの経営安定基金補助金(2 億円)の交付を受け、最終的には黒字を確保することができました。

H29 決算額と過去の推移

(単位:百万円)

区 分	H 2 9	H 2 8	H29-H28	H 2 7	H 2 6
営業収益	5,657	5,744	△87	5,704	310
営業費	5,706	5,789	△83	5,397	384
営業利益	△49	△46	△3	307	△73
経常利益	△184	△224	40	121	△89
税引前利益	39	19	20	150	37
最終利益(税引後)	9	7	2	70	29
総資産額	15,584	11,739	3,845	9,073	19,289

2 内訳等

(1) 営業収益

営業収益は合計 5,657 百万円で、前期を約 87 百万円下回っています。

この減少の原因は、平成 29 年 3 月で終了した暫定指令に伴う清算金の収入が無くなったことによるものであり、清算収入を除く実質の収入は 176 百万円の増加となっています。

その内訳は、運賃等の運輸収入が 2,970 百万円で 4 百万円の増加、貨物の線路使用料が 2,015 百万円で 165 百万円の増加、関連事業や不動産関係の収入が 174 百万円で 7 百万円の増加などとなっています。

(2) 営業費用

営業費は、合計 5,706 百万円となっており、前期から 83 百万円の減少となっています。

営業費についても、暫定指令終了に伴う清算費用が減少しています。

その他の費用で増減額の大きなものは、人件費が 1,915 百万円で 149 百万円の減少、修繕費が全体で 2,140 百万円で 210 百万円の増加などとなっています。

人件費の減少については、主に社員のプロパー化が進んだことや暫定指令終了によるものです。

修繕費の増加は、検査対象車両が多かったことによる車両修繕費の増加(85百万円増)や大雪に伴う除雪費(76百万円増)等によるものです。

(3) 営業外収支

平成29年度は、高岡やぶなみ駅の建設に伴う自由通路建設の受託工事金額が大きかったことや、その他の自治体等からの受託工事も平成28年度以上の金額が計上されています。

その他、昨年度に引き続き、繰延資産償却を行っています。(償却額189百万円)

(4) 特別利益等

経常損失が発生したことにより、県経営安定基金から200百万円が補助されています。

この他、施設整備関係の補助金等が交付されています。

なお、これらについては、基本的に圧縮処理対象となっています。

主な補助金等

当社の施設整備を対象にした補助金：1,457百万円

(対象：新指令設備、新造車両、高岡やぶなみ駅等)

富山駅連続立体事業の工事負担金：54百万円(未成分はBS計上)